

平成
27年度

わかりやすい 瑞穂市の予算

瑞穂市の平成27年度予算のあらましと
主な事業について紹介します



瑞穂市
マスコットキャラクター
「かきりん」

わかりやすい 平成27年度瑞穂市の予算について

瑞穂市では、瑞穂市まちづくり基本条例にもとづき「市民参画による協働のまちづくり」を進めており、市が積極的に市民の皆様に情報を提供し、情報を共有することとしています。

今回、その取り組みのひとつとして「わかりやすい平成27年度瑞穂市の予算」を作成しました。

前半には市の予算の概要について、後半は平成27年度に市が取り組む事業の中から主要事業や新規事業などについて掲載しています。

※この冊子の作成は、今年度から始めた取り組みです。今後内容の充実に努めてまいりますのでお気づきの点がありましたら、ご意見をお寄せください。

目次

◆予算規模について

・予算規模について	P2	・歳出(支出)について	P4
・歳入(収入)について	P3	・税収、市民1人当たりの予算について	P5

◆主な事業

・国勢調査事業	P6	・生活困窮者自立支援事業	P13
・総合計画策定事業	P6	・公園新設整備事業	P13
・地方創生先行型事業	P7	・(仮称)野田橋歩道橋整備事業	P14
・プレミアム付き商品券発行事業	P7	・社会資本整備総合交付金(防災・安全)事業	P14
・消防施設整備事業	P7	・小学校教室空調機器整備事業	P15
・自治会活動支援事業	P7	・牛牧小学校校舎整備事業	P15
・社会保障・税番号制度(マイナンバー)導入推進事業	P8	・西小学校校舎整備事業	P16
・福祉医療費助成制度	P8	・穂積中学校整備事業	P16
・瑞穂処理区下水道事業施設整備事業	P9	・ほづみ幼稚園駐車場整備事業	P16
・市内ごみ分別収集区分の統一	P9	・学級集団アンケート実施事業	P17
・別府水源地配水池更新整備(耐震化)事業	P10	・理科支援員の導入事業	P17
・上水道基幹管路網更新事業	P10	・放課後児童クラブ事業	P17
・不妊治療事業(一般、男性)	P11	・保育所運営事業	P18
・成人風しん予防接種事業	P11	・生涯学習自主事業	P18
・地域包括ケアシステムの構築関連事業	P12	・生涯学習施設改修等事業	P18

平成27年度の瑞穂市の予算規模は？

一般会計・特別会計・公営企業会計の予算を合わせると、**246億4,922万4千円**です

一般会計

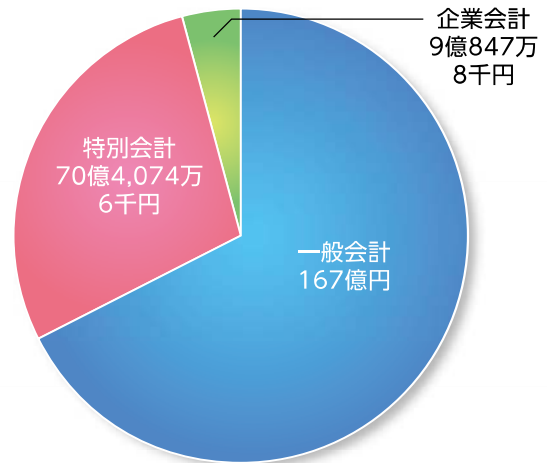
福祉、医療、子育て、教育、道路や公園の整備など、市民の暮らしや、まちづくりに必要な基本的な行政サービスを行う会計です。市税は、主にこの一般会計で使われています。

特別会計

保険料など特定の収入によって事業を行い、その収支を明確にするために一般会計とは別に設置した会計です。国民健康保険事業など5の会計があります。

企業会計

民間企業と同じように事業収益によって運営している会計です。水道事業の会計があります。



各会計の予算規模は、どのくらいあるの？

区分		平成27年度予算額	前年比（増減額）	事業内容
一般会計		167億円	16億3,996万9千円	
特別会計	国民健康保険事業	60億2,335万8千円	11億2,453万3千円	瑞穂市の国民健康保険に加入している方の医療費を給付
	後期高齢者医療事業	4億689万4千円	1,027万3千円	75歳以上の方の医療費を給付
	学校給食事業	3億18万1千円	223万1千円	小中学校等に給食を提供
	下水道事業	2億5,932万2千円	7,121万円	汚水管の整備及び維持管理（特定環境保全公共下水道（西処理区））
	農業集落排水事業	5,099万1千円	2,297万9千円	生活環境の保全および公衆衛生の向上を目的に整備した排水処理施設の管理
企業会計	水道事業	9億847万8千円	1,307万1千円	水道水の供給および水源・水道管の整備・維持管理

一般会計は、増えているの？

平成27年度予算は、社会保障経費の増加、計画的に進めてきた事業実施等に向けて予算措置した結果、前年度より**16億3,996万9千円**増加しました。

歳入(収入)

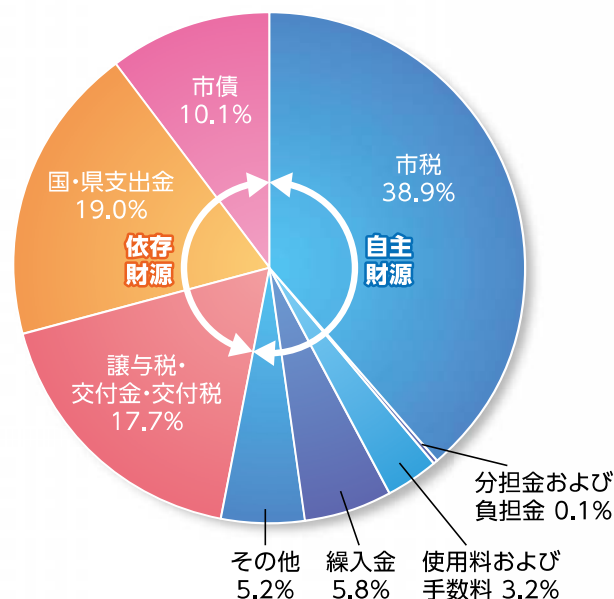
一般会計には、 どのような歳入があるの？

一般会計の歳入には、市税や国・県からの補助金、金融機関等からの借入れや施設の使用料などがあります。

〈ここがポイント〉

約5割が自主財源。自主財源が多いほど、財政が安定し、自主的な事業をより多く行うことができます。自主財源の多くは市税です。

今年度、自主財源は増加しましたが、これは、大型事業の実施に伴い、基金(貯金)を取り崩し、繰り入れたためです。



一般会計歳入予算

区分	事業内容	平成27年度予算額	前年比(増減額)
自主財源	市が自主的に調達できる収入のことです。	88億8,483万8千円	6億4,356万8千円
市税	市民の皆様や市内に事務所を持つ法人に納めていただくものです。	65億57万円	△5,039万7千円
分担金および負担金	市の行う事業により利益を受けるものから、その受益を限度として賦課徴収するものです。	2,058万2千円	△2億1,056万4千円
使用料および手数料	市の施設の利用や事務により利益を受けるものから、条例の定めにより、その受益に対する実費負担的な金額をいただくものです。	5億3,242万8千円	2億4,012万3千円
繰入金	一般会計、特別会計および基金の間における現金を移動することです。	9億5,980万1千円	6億1,268万7千円
その他	寄付金、ふるさと納税、不動産売り払いなどの財産収入、諸収入、前年度からの繰越金などです。	8億7,145万7千円	5,171万9千円
依存財源	国や県から交付されたり、割り当てられる財源や市債(借金)のことです。	78億1,516万2千円	9億9,640万1千円
譲与税・交付金・交付税	皆様が国に納めた税金の一部で、一定の基準により市に交付されます。	29億5,700万1千円	△1億1,700万円
国・県支出金	皆様が国・県に納めた税金の一部です。市の行う事業の全部又は一部に交付されます。	31億7,016万1千円	4億8,640万1千円
市債	市が行う事業で、特に大きな事業を実施する場合の必要な財源を調達するためなどに借り入れる借金です。	16億8,800万円	6億2,700万円
計		167億円	16億3,996万9千円

※P6以降の各事業の財源について、上記の分担金および負担金、使用料および手数料、繰入金、その他を「その他」としてまとめて表記しています。

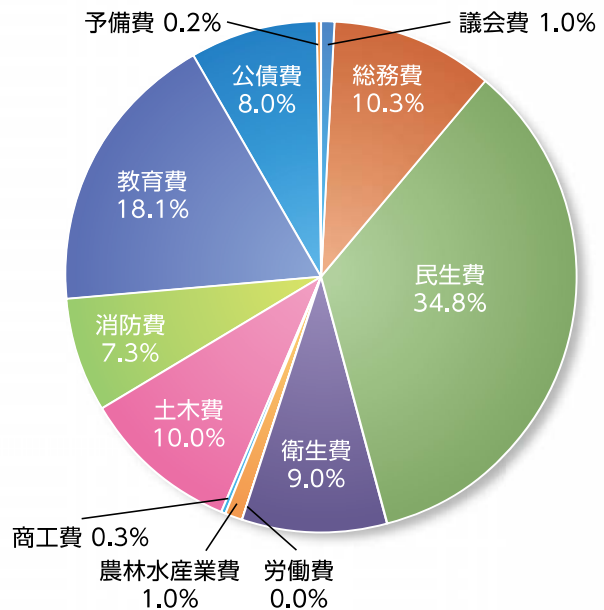
歳出(支出)

どんな分野(目的)の歳出があるの?

民生、土木、教育などの分野に分けて支出します。

〈ここがポイント〉

民生費と教育費で約5割を占めています。今年度は、牛牧小学校校舎整備事業、小学校教室空調機器整備事業など大型事業の実施により教育費が大きく増加しました。



一般会計歳出予算(目的別)

項目	事業内容	平成27年度予算額	前年比(増減額)
議会費	議会運営のための経費です。	1億6,650万5千円	1,384万1千円
総務費	庁舎や財産の維持管理、税金の徴収、戸籍管理、選挙、統計などの経費です。	17億1,368万1千円	4,942万3千円
民生費	障がい者や高齢者の福祉サービス、子育て支援、保育所、生活保護等の経費です。	58億830万3千円	5,528万2千円
衛生費	健康増進、疾病予防、環境保全、清掃費などの経費です。	15億4万円	4,218万6千円
労働費	勤労者などの支援費等の経費です。	508万4千円	増減なし
農林水産業費	農林業の振興を図るための支援や生産基盤整備などの経費です。	1億6,318万1千円	5,634万5千円
商工費	商工業や観光の振興等の経費です	5,730万9千円	11万4千円
土木費	道路、河川、公園等社会資本基盤整備等の経費です。	16億7,640万2千円	6,587万3千円
消防費	消防や火災予防、水防等災害対策のための経費です。	12億1,147万5千円	3,239万2千円
教育費	学校教育、生涯学習の充実、文化・スポーツの振興などの経費です。	30億2,758万3千円	12億9,031万2千円
公債費	市債(借金)の返済のための経費です。	13億4,043万7千円	2,420万1千円
予備費	予算編成の際、予期しなかった予算外の支出に対応するための科目です。	3,000万円	1,000万円
計		167億円	16億3,996万9千円

瑞穂市に入る税収は、何種類あるの？

項目	内容	平成27年度予算	前年比（増減額）
市民税(個人)	個人の前年中の所得などに応じて納める税金です。	27億1,840万円	977万5千円
市民税(法人)	市内の法人の所得などに応じて納める税金です。	3億4,610万円	△ 2,810万円
固定資産税	市内に土地、家屋、償却資産を持っている方が納める税金です。	30億1,186万2千円	△ 2,536万8千円
軽自動車税	市内に原動機付自転車、軽自動車などを持っている方が納める税金です。	9,730万8千円	459万6千円
市たばこ税	たばこを買った方が負担している税金です。	3億2,690万円	△ 1,130万円
計		65億57万円	△ 5,039万7千円

市民1人当たり、いくら使われているの？

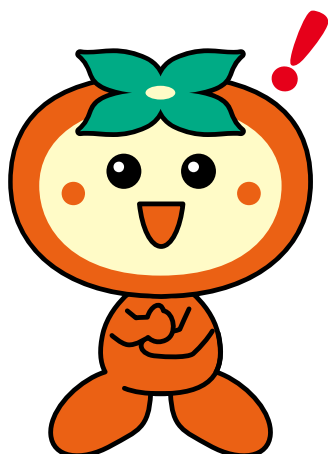
市民1人当たり、約31万円になります。(平成27年3月31日現在の人口53,271人)

■一般会計歳入予算

項目	金額(円)
市 税	122,028

〈ここがポイント〉

瑞穂市に納めた税金約12万円に、国・県の補助金などを加えた金額を財源として、市民1人当たり約31万円の事業が行われます。



■一般会計歳出予算(目的別)

項目	金額(円)
議 会 費	3,126
総 務 費	32,169
民 生 費	109,033
衛 生 費	28,159
労 働 費	95
農 林 水 産 業 費	3,063
商 工 費	1,076
土 木 費	31,469
消 防 費	22,742
教 育 費	56,834
公 債 費	25,162
予 備 費	563
計	313,491

事業 国勢調査事業

担当課 企画部
企画財政課

予算額 3,000万円 平成27年度
2,308万3千円 平成22年度(前回決算額)

財源 県 3,000万円

平成27年10月1日を基準日として全国一斉に 国勢調査が行われます

この調査は、住民票などの届出に関係なく、日本国内に住んでいるすべての人・世帯を対象に、ふだん住んでいるところで調査します。このため、日本に住んでいる外国人も国籍に関係なく調査の対象となります。

今回から、紙の調査票だけでなく、パソコンやスマートフォンからインターネットによる回答ができるようになり、便利で簡単になります。



日程	内容
9月8日(火)～	調査員が各世帯を訪問。インターネットによる回答ができます。
9月26日(土) ～10月7日(水)	インターネットによる回答をされていない世帯を調査員が訪問して、紙の「調査票」を配布。調査員への提出または郵送による提出ができます。

事業 総合計画策定事業

担当課 企画部
企画財政課

予算額 1,320万円 平成27年度
682万円 平成26年最終予算

財源 市 1,320万円

第2次総合計画を策定します

平成27年度末で現行総合計画(第1次)の計画期間が終了することに伴い、市民と協働で新たな総合計画の策定を進めています。

市民協働で計画作りを進めています

●市民検討会議

公募や様々な団体から参画いただいた28名の市民が市民目線で計画素案を検討しています。



●ワールドカフェ

カフェテーブルのようなくつろいだ雰囲気の中で市民の皆様が一定のテーマについて話し合う方法です。



●市民アンケート 平成26、27年度に実施

●地域説明会 平成27年度に実施予定です。

事業

① 地方創生先行型事業 ② プレミアム付き商品券発行事業

担当課

① 企画部企画財政課他6課
② 都市整備部商工農政課

予算額

9,985万8千円
(平成26年度からの繰越事業)

財源

国 8,991万3千円
市 994万5千円

① 地方創生先行型事業 4,000万円

- ・今後5か年の目標や基本的な方向を提示する「瑞穂市総合戦略」を策定します。
- ・「瑞穂市総合戦略」の策定に先駆け、まち・ひと・しごとの創生のための事業を実施します。

② プレミアム付き 商品券発行事業 5,985万8千円

- ・消費需要拡大と地域経済の活性化を目的に地域で使用できる「プレミアム付き商品券」を発行します。
- ・詳細は広報、ホームページでお知らせします。

プレミアム商品券
1,000円

事業

消防施設整備事業

担当課

総務部
総務課

予算額

6,200万円 平成27年度
3,091万7千円 平成26年度

財源

市債 2,400万円
市 3,800万円

消防団の設備等の充実を図ります

平成27年度より消防団の定員数を242名に増員しました。
第7分団(生津小学校区)の設置及び第2分団の詰所の整備を進めます。

● H27年度の整備予定

- ・第7分団用の消防ポンプ車購入
- ・25年経過した消防小型ポンプ軽積載車更新(3台)



事業

自治会活動支援事業

担当課

総務部
総務課

予算額

3,450万円 平成27年度
3,213万2千円 平成26年度

財源

市 3,450万円

校区のまとめり(小学校区自治会連合会の設置)を進めます

自治会長や各種団体役員を役員とした校区のまとめりの組織化を推進し、今後は、現在の校区活動に加え、避難所開設訓練、防災訓練、交通安全、防犯、子育て、見守り活動などの市民の活動を支援します。



事業

社会保障・税番号制度(マイナンバー)導入推進事業

担当課 市民部市民課
他8課

予算額 8,524万1千円 平成27年度
1,710万2千円 平成26年度

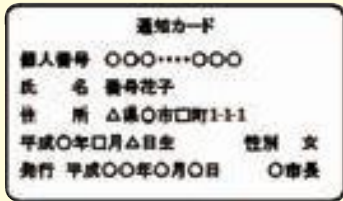
財源 国 5,960万6千円
市 2,563万5千円

平成27年10月から市民の皆様一人一人にマイナンバーが通知されます
住民票を有する全ての方に一人一つの番号が「通知カード」により通知されます。

①番号通知カード・個人番号カード関連事務経費 1,826万円

●番号通知カード(住民票を有する全ての方)

- ・平成27年10月から住民票を有する全ての方に配布されます。
- ・氏名、住所、生年月日、性別、マイナンバーが記載されています。
- ・マイナンバーは一生使うものです。大切に保管してください。



番号通知後

●個人番号カード(交付を希望される方)

- ・番号通知カードの受領後に個人番号カードの交付申請をすると平成28年1月以降に受け取ることができます。
- ・氏名、住所、生年月日、性別、本人の写真、マイナンバーが記載されています。
- ・公的な身分証明書として使用できます。



②番号制度導入に伴うシステム改修 6,698万1千円

マイナンバー導入に向けたシステムの改修を実施します。



事業

福祉医療費助成制度

担当課 市民部
医療保険課

予算額 5億9,315万8千円 平成27年度
5億9,385万1千円 平成26年度

財源 国・県 1億8,706万1千円
市 4億609万7千円

・瑞穂市では、乳幼児、重度心身障害(児)、母子(父子)家庭等のひとり親および子に対し、保健の向上と福祉の増進を図るため、医療費助成制度を実施しています。

制 度	対 象 者
乳幼児等	中学校第3学年終了まで
重度心身障害者	・身体障害者手帳 1～3級 ・療育手帳 A1、A2、B1 ・精神障害者保健福祉手帳 1、2級等をお持ちの方
母子家庭等	母子家庭等の母と子(子が18歳になるまで)
父子家庭	父子家庭の父と子(子が18歳になるまで)

上記のいずれかに該当する方には福祉医療受給者証が交付され、これを県内の病院の窓口で保険証と一緒に提示すると保険診療対象分の医療費が無料になります。県外で受診された場合も、一旦は窓口負担分をお支払いいただく必要がありますが、領収書等をお持ちいただくことで保険診療対象分の償還ができます。

事業

瑞穂処理区下水道事業施設整備事業

担当課 環境水道部
下水道課

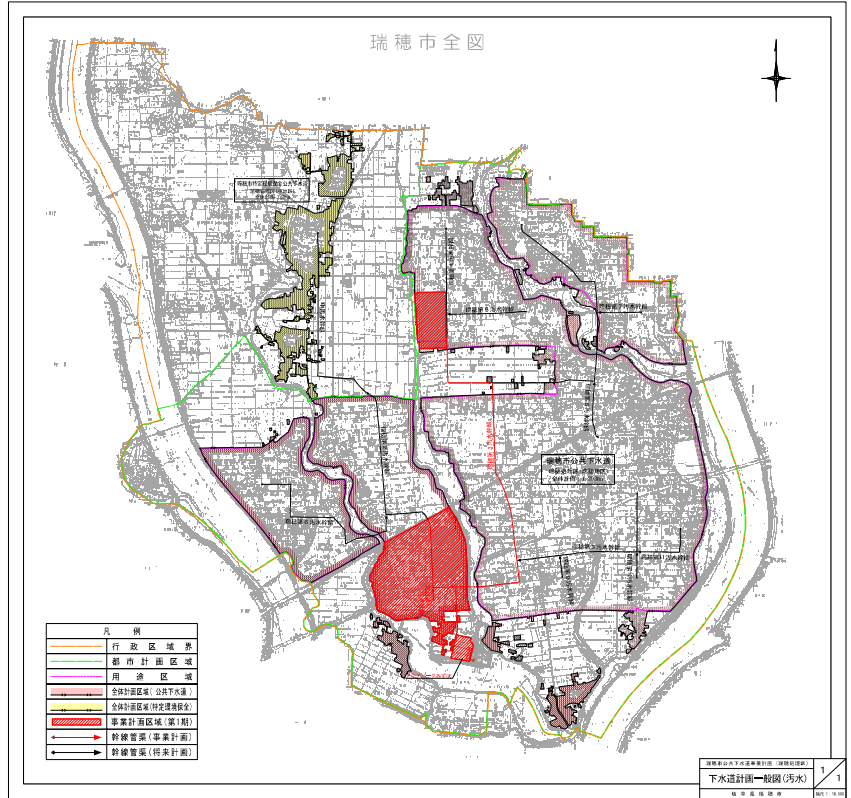
予算額 6,800万円 平成27年度
3,590万円 平成26年度からの繰越事業

財源 市 6,800万円

瑞穂市の下水道普及率は県内の市町村と比べて低い水準にあり、市内の河川や水路は生活排水等により汚濁しています。このような状況を改善するために、平成22年に公共下水道全体計画を策定し、現在供用している西処理区、呂久処理区、別府処理区に加え、新たに瑞穂処理区を整備する事業計画を定めます。

●平成27年度事業内容

- ・下水道事業計画申請図書等の作成業務委託
- ・管路施設の詳細設計のための地質調査業務委託
- ・用地測量・調査委託等



事業

市内ごみ分別収集区分の統一

担当課 環境水道部
環境課

予算額 1,188万7千円 平成27年度
991万5千円 平成26年度

財源 市 1,046万1千円
その他 142万6千円
(※P3)

ごみの分別収集区分を統一します

地区ごとに異なるごみの分別収集区分を統一するため、平成27年7月から次のように収集を行います。プラスチック製容器包装の分別収集については、正しく分別することによって「資源」として再利用されます。「ごみ」を「資源」に変えることによってごみの減量化にもつなげるものです。

●穂積地区 プラスチック製容器包装の分別収集(月1回)

馬場、生津、只越、本田、別府、穂積、稲里、牛牧、十九条、宝江、野田新田、野白新田、祖父江及び犀川

●巢南地区 陶磁器・ガラス類の分別収集(月1回)

七崎、居倉、森、田之上、唐栗、宮田、大月、重里、美江寺、十七条、十八条、古橋、横屋、中宮及び呂久

